

平成 21 年度

年報

山口県文書館

目次

I 概要		21年度の刊行物	17
1 沿革	2	9 地方調査員	17
(1) 設立	2	(1) 地方調査員会議	17
(2) 年表	2	(2) 地方調査員による文書調査報告実績	17
2 組織	9	(3) 地方調査員名簿	17
3 決算	9	10 広報・普及	18
4 施設	9	(1) 広報活動	18
		(2) 第4回中国四国地区アーカイブズ ウィーク	18
II 平成21年度業務報告		(3) 特別展示	18
1 21年度概観	10	(4) 絵図を片手に街を歩こう	18
2 収蔵状況	11	(5) アーカイブズガイド出版	19
3 調査	11	(6) 「国際アーカイブズの日」記念講演会	19
4 収集	12	(7) 資料小展示等	19
(1) 諸家文書	12	(8) 古文書入門講座	19
(2) 行政文書	12	(9) 古文書専修講座	20
(3) 行政資料	12	(10) 古文書活用講座	20
5 整理	13	11 研究活動	20
(1) 藩政文書	13	(1) 研究実績	20
(2) 諸家文書	13	(2) 研究会等	21
(3) 行政文書	13	12 その他	21
(4) 行政資料	13	春季・秋季資料整理等	21
(5) 図書雑誌	14		
(6) その他（特設文庫）	14	III 平成22年度の計画	
6 保存対策	14	1 業務	22
(1) 修理	14	(1) 保存対策	22
(2) 絵図複製	14	(2) 刊行物	22
(3) 複製	14	(3) 普及活動	22
(4) 資料燻蒸	14	2 職員	22
(5) その他	14	3 地方調査員	23
7 利用	15	4 当初予算	23
(1) 文書館利用状況	15		
(2) ホームページ利用者数	15		
(3) 調査室（閲覧室）利用者数	15		
(4) 電子情報処理組織による申請等	15		
(5) 閲覧者数の状況	15		
(6) 閲覧文書点数の状況	16		
(7) 特別利用の状況	16		
(8) 貸出	17		
8 刊行物	17		

I 概要

1 沿革

(1) 設立

当館は、昭和34年4月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和27年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約5万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和12年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料3千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治36年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和34年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

(2) 年表

昭和34年度 (1959)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34.4.1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される
10.1	専任職員が配置される
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始
昭和35年度 (1960)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35.4.1	閲覧業務を開始する
8.	三浦家文書受託
11.30	「防長風土注進案12 山口審判上」刊行
36.3.10	「防長風土注進案16 吉田審判」刊行
昭和36年度 (1961)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36.5.16	田中義一文書受託
6.15	「山口県文書館概要」刊行
6.15	「防長風土注進案1 大島審判上」刊行
8.31	「防長風土注進案15 舟木審判」刊行
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催
11.10	「防長風土注進案13 山口審判下」刊行
12.10	「防長風土注進案2 大島審判下」刊行
37.1.31	「防長風土注進案17 美祢審判」刊行
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行
昭和37年度 (1962)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37.4.20	「防長風土注進案3 奥山代審判」刊行
6.30	「防長風土注進案4 前山代審判」刊行
8.8	徳山毛利家文庫受託
9.20	「防長風土注進案19 前大津審判」刊行
11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）

11.5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行
12.10	「防長風土注進案5 上関宰判上」刊行
12.14	県庁行政文書年末収集開始
38.2.10	「防長風土注進案18 先大津宰判」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録1」刊行
<hr/>	
昭和38年度 (1963)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
38.4.1	県行政文書の移管を開始(「山口県文書取扱規程」に基づく)
6.30	「防長風土注進案6 上関宰判下」刊行
8.31	「防長風土注進案7 熊毛宰判」刊行
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催(～11.3)
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行
12.	山内家文書受託
39.1.31	「防長風土注進案20 当島宰判」刊行
3.10	「防長風土注進案8 都濃宰判」刊行
3.26	山口県文書館条例が公布される(施行39.4.1)
3.26	山口県文書館規則が改正される(施行39.4.1)
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される
<hr/>	
昭和39年度 (1964)	(館長 上村忠治<図書館長兼務>-7.5-木原立美<図書館長兼務>)
39.5.31	「防長風土注進案9 三田尻宰判上」刊行
7.20	「防長風土注進案11 徳地宰判」刊行
9.20	「防長風土注進案21 奥阿武宰判」刊行
10.17	近世交通史料展開催(～10.18)
12.10	「防長風土注進案14 小郡宰判」刊行
40.3.10	「防長風土注進案10 三田尻宰判下」刊行
3.30	「山口県文書館史料目録2」刊行
<hr/>	
昭和40年度 (1965)	(館長 木原立美<図書館長兼務>)
40.6.1	山口県文書館規則一部改正
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始(「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく)
9.20	「文書館ニュース1号」刊行(以後年刊)
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行
11.10	「文書館案内」刊行(以後不定期刊行)
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行
<hr/>	
昭和41年度 (1966)	(館長 兼清正徳)
41.4.1	山口県政史の編纂事業開始
5.10	廨に指定される
10.25	大村益次郎文書受託
11.3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞
42.3.30	「萩藩閥閥録 第1巻」刊行
<hr/>	
昭和42年度 (1967)	(館長 兼清正徳)
43.3.30	「萩藩閥閥録 第2巻」刊行
<hr/>	
昭和43年度 (1968)	(館長 兼清正徳)
43.4.1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる

昭和44年度 (1969)	(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される (職名は研究員・専門研究員)
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第3巻」刊行
昭和45年度 (1970)	(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行
3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行
昭和46年度 (1971)	(館長 兼清正徳)
46. 6. 7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会 (西日本地区)」の会場となる
7. 1	地方調査員制度を発足させる
47. 3. 1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行 (以後年刊)
昭和47年度 (1972)	(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行
48. 3.20	「山口県史料古代編」刊行
昭和48年度 (1973)	(館長 松村茂)
48. 7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催 (～8.18)
49. 3. 1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行 (以後年刊)
昭和49年度 (1974)	(館長 松村茂)
49. 5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行
50. 1.	成人大学古文書解読講座に協力 (以後平成11年度まで)
昭和50年度 (1975)	(館長 田村武文)
51. 1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (通称全史料協) の創立大会を開催
昭和51年度 (1976)	(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会 (第1回) を開催
昭和52年度 (1977)	(館長 田村武文)
53. 2.22	古文書・行政文書取扱者講習会 (第2回) を開催
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行
昭和53年度 (1978)	(館長 田村武文)
54. 3.20	「山口県史料中世編 上」刊行
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行
昭和54年度 (1979)	(館長 木梨亮一)
54.4.～11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行
5.～3.	山口県古文書所在確認緊急調査を実施
10.	全国都道府県史協議会を開催
昭和55年度 (1980)	(館長 高佐原茂郷)
55. 6.17	有光家文書受贈
昭和56年度 (1981)	(館長 平田豊彦)
57. 2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行

昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58. 2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3.	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11. 1	古文書解説 (基礎) 講座を開催 (以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59. 2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	
昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)
59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催 (13日間)	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正 (施行 60.4.1)	
3.26	山口県文書館規則改正 (施行 60.4.1)	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度 (1985)		(館長 宮本幹雄)
60. 4. 1	副館長が置かれる (山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29)	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度 (1986)		(館長 宮本幹雄)
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度 (1987)		(館長 宮本幹雄)
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度 (1988)		(館長 斎藤 博)
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行 (以後年刊)	
平成元年度 (1989)		(館長 那須 敬)
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催 (~10.15)	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	

3.30 開館 30 周年記念「山口県文書館の 30 年」刊行	
平成2年度 (1990)	(館長 那須 敬)
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行
平成3年度 (1991)	(館長 那須 敬)
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940 年代-1950 年代」刊行
平成4年度 (1992)	(館長 松永精一郎)
4. 5.	古文書専修講座を毎月開催 (以後毎年)
6.22	有光家文書が国指定重要文化財 (古文書) に指定される
8.13	古文書活用講座を開催 (~8.19、以後毎年)
5. 3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940 年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度 (1993)	(館長 松永精一郎)
6. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 1 柳井市金屋小田家文書第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 2 リーフレット・ポスター1940 年代~1960 年代」刊行
平成6年度 (1994)	(館長 山本 直)
7. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 2 柳井市金屋小田家文書第 2 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930 年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度 (1995)	(館長 山本 直)
8. 3.29	「山口県文書館諸家文書目録 3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録 3 地図 1950 年代まで」刊行
平成8年度 (1996)	(館長 宮本典彦)
8. 6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催 (以後 8.23、9.12、10.15 の計 4 回開催)
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20 年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度 (1997)	(館長 宮本典彦)
9. 2. 1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催 (~12 月、毎月展示替え)
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10. 2. 1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 4 1960 年代第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録 5 佐藤家文書」刊行
平成10年度 (1998)	(館長 宮本典彦)
10. 4.21	古文書入門講座を毎月開催 (以後毎年)
6.30	「大内版法華経板木」59 枚が国指定重要文化財 (歴史資料) に指定される
11. 1.21	第 1 回文書館ウィーク開催 (~1.27)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 5 1960 年代第 2 分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊 1 公儀事諸控総目次 I」刊行
平成11年度 (1999)	(館長 宮本典彦)

11. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12. 1.20	第2回文書館ウィーク開催（～1.27）
3.23	山口県文書館規則第3条第1項改正（但書削除、土曜日全日開館）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録6 1960年代第3分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊2 公儀事諸控総目次Ⅱ」刊行
<hr/>	
平成12年度（2000）	（館長 青木正典）
12. 4. 1	土曜日全日開館（9:00～17:00）を開始
13. 1.18	第3回文書館ウィーク開催（～1.24）
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
<hr/>	
平成13年度（2001）	（館長 青木正典）
14.1.18	第1回文書館デイズ開催（～1.20）
3.29	「山口県文書館諸家文書目録6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録7 1960年代第4分冊」刊行
<hr/>	
平成14年度（2002）	（館長 青木正典）
14. 4. 1	文書館資料保存修復事業・館蔵品情報発信事業に着手（緊急雇用創出事業）
12.20	「山口県文書館特設文庫目録1 新聞文庫目録（近代）」刊行
15. 1.17	第2回文書館デイズ開催（～1.19）
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新（文書館・博物館・美術館情報発信事業）
<hr/>	
平成15年度（2003）	（館長 村松優一）
15. 4. 1	文書館収集資料整理事業に着手（緊急雇用創出事業、～16年度）
16. 1.23	第3回文書館デイズ開催（～1.25）
2.10	「山口県文書館特設文庫目録2 雑誌文庫目録（近代）」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊3 諸事小々控総目次Ⅰ」刊行
3.31	ホームページに画像データベース（毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット）を追加
<hr/>	
平成16年度（2004）	（館長 村松優一）
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催（～10.29）
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正（11.1施行）
17. 1.21	第4回文書館デイズ開催（～1.23）
3.31	「山口県文書館諸家文書目録7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録9 地図 1960年代」刊行
<hr/>	
平成17年度（2005）	（館長 木原 宏）
17. 6. 9	山口県行政文書（県庁文書 12,597点、郡役所文書 952点）が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催（～6.12）
18. 1.20	第1回「山口お宝展」（重要文化財「大内版法華経板木」を展示）開催（～2.12）
2.28	「毛利家文庫目録別冊4 諸事小々控総目次Ⅱ」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録5 一郡役所文書一」刊行
<hr/>	
平成18年度（2006）	（館長 木原 宏）
18. 6. 1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催（～6.7）

10.8	日曜開館（月曜閉館）を試行開始
11.10	第6回文書館デイズ「御屋形様の文書－雪舟のパトロン大内氏－」開催（～11.12）
19.1.19	第2回「山口お宝展」（吉田松陰所用の印章）開催（～2.18）
3.30	「毛利家文庫目録別冊5 諸事小々控総目次Ⅲ」刊行
3.30	「行政資料目録10 リーフレット・ポスター 1970年代～1980年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
<hr/>	
平成19年度（2007）	（館長 熊寄歳介）
19.4.1	日曜開館（月曜閉館）開始
6.1	第2回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道に行く」開催（～6.7）
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開（閲覧提供）開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる（～11.10）
20.1.18	第3回「山口お宝展」（村上水軍関係文書）開催（～2.17）
3.31	「諸家文書目録8 平生町佐合島佐川家文書 第1分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録1 山口県布達達書Ⅰ ー明治4～10年ー」刊行
<hr/>	
平成20年度（2008）	（館長 熊寄歳介）
20.6.1	第3回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催（～6.8）
10.1	資料小展示「天璋院篤姫と長州－文書の中の篤姫－」（～11.16）
21.1.17	大学入試センター試験・日本史Aで当館のことが取り上げられる
3.21	第4回「山口お宝展」（鎌倉時代の塩浜絵図－長門国正吉郷入江塩浜絵図－）開催（～4.19）
3.31	「諸家文書目録9 平生町佐合島佐川家文書 第2分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録2 山口県布達達書Ⅱ ー明治11～14年ー」刊行
<hr/>	
平成21年度（2009）	（館長 熊寄歳介）
（通年）	開館50周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
21.6.2	開館50周年記念として、第4回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏－戦国のアーカイブズ－」を開催（～6.9）
21.11.17	当館所蔵の「吉田松陰関係資料」754点が山口県指定有形文化財（歴史資料）に指定
22.3.3	大内氏山口開府650年「山口お宝展」協賛展示（「足利将軍の出した文書」）（～4.4）
3.31	開館50周年記念出版『山口県文書館所蔵アーカイブズガイド－幕末維新編－』刊行
（通年）	文書館情報発信事業
	①行政資料写真・諸家文書写真・同絵はがき約15,000点のデータベース化及びスキヤニング、ならびに当館ホームページへのアップロード。
	②情報発信のためのデジタル撮影（毛利家文庫・両公伝史料など1,152冊・170,446コマ）
	③情報発信のためのクリーニング作業（徳山毛利家文庫6,610冊）

2 組織（平成 21. 4. 1 現在）

館長（1名）—— 副館長（1名）—— 専門研究員（5名）
総務（兼務、3名）
嘱託職員・臨時職員（2名）
地方調査員（9名）

3 決算（一般会計、単位:千円）

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
20,969	8,531	14,237	16,956	14,382	27,213

4 施設

図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m²、延べ床面積 9,819 m²

文書館面積 1,232 m²（利用者ゾーン 209 m²、業務ゾーン 235 m²、書庫<地下 2 層>

図書館面積 7,855 m²、点字図書館面積 190 m²、レクチャールーム面積 542 m²

II 平成 21 年度業務報告

1 21 年度概観

山口県文書館は昭和 34 年（1959）4 月に設立された。開館 50 周年を迎えた本年度は、例年の活動に加えてさまざまな記念事業を実施した。

今年度の主だった活動状況を概観すれば以下のとおりである。

記念事業

(1) アーカイブズウィーク

6 月 2 日（火）～9 日（火）に第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク事業を行った。これは中四国のアーカイブズ 7 館がおおむね 6 月に一斉に広報・普及・啓発活動を行うもので、本館では本年度は記念事業として位置づけ、「アーカイブズ展示」として「天下人と毛利氏ー戦国のアーカイブズー」、「特別シンポジウム」として「関ヶ原シンポジウムー西軍大名の江戸時代ー」、「ギャラリートーク」、「アーカイブズ歴史小話」、「文書館を使ってみよう！」などを行った。

(2) 特別展示

例年の展示のほか、特別展示として「山口県文書館 50 年のあゆみ展」、「隠れたアーカイブズたち～軸物アーカイブズ展～」、「幕末維新アーカイブズ展」、「国指定重要文化財大内版法華経板木展」、「吉田松陰没後 150 年記念 吉田松陰自賛肖像展」を行った。また、例年の資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」として統一テーマをたてて実施した。

(3) 絵図を片手に街を歩こう

館蔵の江戸時代の絵図を用いて現地を歩き、地域の歴史と魅力を再発見する試みを県下 4 会場で行った。

(4) アーカイブズガイドの出版

開館 50 周年記念出版として『山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー』（132 頁）を刊行した。

(5) 会議等

当館の 50 周年に合わせる形で、文書館関係の二つの会議（および「国際アーカイブズの日」記念講演会）を誘致した。

調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言を行い、県史編さん事業の調査にも協力した。

収集

平成 21 年度には 7 氏から 7 件 912 点の寄贈、4 氏から追加分を含む 4 件 1,831 点の寄託を受けた。

行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書 1,297 点、行政資料 830 点を引き継いだ。

整理

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲

覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書についても整理を進めた。

資料の活用と保存を図るため、利用頻度の高い絵図及び文書の写真複製を行った。また、毛利家文庫のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。

目録出版

平成 21 年度は記念事業に注力し、目録の出版は行わなかった。

普及事業

例年の普及活動のほか、開館 50 周年事業として数多くの普及活動を行った。

- (1) アーカイブズウィーク
- (2) 特別展示
- (3) 絵図を片手に街を歩こう
- (4) アーカイブズガイドの出版
- (5) 会議等：文書館関係の二つの会議を誘致した。6 月の「全国公文書館長会議、12 月の「中国四国地区文書館等職員連絡会議」であり、県市町職員も参加した。
- (6) 古文書講座：
例年どおり、「古文書入門講座」と「古文書専修講座」についてはそれぞれ通年 12 回、教員対象の「古文書活用講座」は 8 月に 4 日連続で実施した。

利用者

閲覧者は公務員、その他（一般）、学生・教員の順に多く、とりわけ県史編纂関係者の利用が目立った。

日曜開館に踏み切って 4 年目となる今年度の閲覧者は、2,811 人（昨年度 2,340 人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は 6,042 人（昨年度 6,303 人）であった。

2 収蔵状況

(平成 22. 3. 31 現在)

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図 書	その他 (特設文庫)	総 計
93,512	120,276	76,189	130,329	38,670	21,711	480,687

上記のうち、21 年度新たに収蔵（整理、追加登録）した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図 書	その他 (特設文庫)	総 計
0	2,743	1,297	830	829	11	5,710

3 調査

4 月 22 日 雨村家文書（山口市）

4 収集

(1) 諸家文書

(ア) 寄贈

石井丈若撮影写真（山口市）	11 点
佐伯隆収集文書（山口市）	19 点
藤津家文書（山口市）	196 点
亦野家文書（山口市）	16 点
松永家文書（神奈川県横浜市）	82 点
松原家文書（埼玉県さいたま市）	560 点
松元淳収集資料（追加）（萩市）	28 点
	（計 912 点）

(イ) 寄託

横浜市上田家文書（神奈川県横浜市）	69 点
河北家文書（大阪府）	155 点
平生町佐合島佐川家文書（追加）（田布施町）	11 点
雨村家文書（山口市）	1,596 点
	（計 1, 831 点）

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼を行い、1,297 点を引き継いだ。
引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

市町課	137 点
畜産振興課	106 点
社会教育・文化財課	61 点

(3) 行政資料

・冊子	650 点
・リーフレット類	122 点
・ポスター類	58 点
・地図類	—
・函面類	—
・35 mmネガフィルム	—
・写真資料	—
・16 mm映画フィルム	—
・ビデオテープ	—
・録音テープ	—

（計 830 点）

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 毛利家文庫

遠用物のうち近世後期の整理を一部行った。

(イ) 徳山毛利家文庫

引き続き未整理の書状類の整理を進めた。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

名称	所在	内容等	点数
石井丈若撮影写真	山口市	記録写真	11
佐伯隆収集文書	山口市	収集文書	19
藤津家文書	山口市	家業	196
亦野家文書	山口市	県職員	16
松永家文書	横浜市	医業	82
松原家文書	さいたま市	地侍、萩藩士	560
松元淳収集資料（追加）	萩市	軸物類収集	28
横浜市上田家文書	横浜市	庄屋、酒造業	69
河北家文書	大阪府	萩藩士	155
平生町佐合島佐川家文書（追加）	田布施町	庄屋・畔頭、村会議員	11
雨村家文書	山口市	絵はがきなど収集資料	1,596

(計 2,743 点)

(3) 行政文書

(ア) 平成 21 年度収集文書 1,297 点について、仮目録を作成した。

(イ) 引き続き明治～昭和戦前期の行政文書を対象に件名目録を作成することとし、『行政文書件名目録 3』の準備を進めた。

(ウ) 1990 年代文書 5,591 点の整理を行った。

(4) 行政資料

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・冊子	650 点
・リーフレット	122 点
・ポスター類	58 点
・地図類	—
・図面類	—
・写真資料	—
・16 mm映画フィルム	—
・35 mmネガフィルム	—
・35 mmスライドフィルム	—

- ・ビデオテープ ー
 - ・録音テープ ー
- (830 点)

(5) 図書雑誌 829 点

(6) その他（特設文庫）

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

- ・一般郷土史料 4 点
- ・教科書文庫 ー
- ・雑誌文庫 ー
- ・文化財文庫 ー
- ・複写資料（地下上申絵図） 7 点

6 保存対策

(1) 修理

毛利家文庫・罪科のうち損傷の著しい「常御仕置帳」2冊を岡山市の（株）ヤマキに業務委託し修理した。

(2) 絵図複製

「地下上申絵図」清図のうち以下の7点について、名古屋市の中カシャクリエイト株式会社業務委託し、閲覧用の複製物（高精度カラー印刷）を作成した。

№ 133	黒沢村	№ 454	山畑村
№ 154	渡り村	№ 466	岸見村
№ 415	切畑村	№ 472	小古祖村
№ 424	清涼寺村		

(3) 複製

徳山毛利家文庫「譜録」のマイクロフィルムからのプリントを行い、写真複製を行った。

(4) 資料燻蒸

新収資料の河北家文書、雨村家文書など10件（ダンボール箱51箱分）の燻蒸を仮設の天幕燻蒸式で業者（山陽クリーンサービス（有））に委託し実施した。（11.24～27）

(5) その他

旧視聴覚センターに保管する映像フィルムについて、巻き戻しの風通し作業を行った。

7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 257 日（前年度 257 日）、入館者総数 6,042 人（前年度 6,303 人）であった。そのうち、閲覧者は 2,811 人（前年度 2,340 人）であった。

なお、日曜開館の閲覧者実績は、平均 8.1 人（前年度 6.7 人）、平日の閲覧者実績は 11.4 人（同 9.8 人）、土曜日は 11.0 人（同 8.8 人）であり、全体の平均は 10.7 人（同 9.1 人）であった。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、次頁以下（5）及び（6）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、平成 22 年 3 月末現在で 204,833 件（この 1 年間では 46,142 件）となった。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写台	絵図室	特別室	合計
H21年度 (H20年度)	6,042 (6,303)	2,811 (2,340)	H21年度 (H20年度)	1,395 (1,222)	376 (130)	177 (216)	1,948 (1,568)

(4) 電子情報処理組織による申請等

文書掲載等承認の手続きとして、利用者の便宜を図る観点から利用規定を改正し、平成 18 年 9 月 1 日から電子申請ができることにしている。

(5) 閲覧者数の状況

職業		平成 21 年度				平成 20 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率	合計 (人)	比率
教員	大学	101	155	256	9.1%	270	11.5%
	小・中・高校	105	4	109	3.9%	101	4.3%
	その他	3	0	3	0.1%	7	0.3%
学生	大学院	27	83	110	3.9%	140	6.0%
	大学・その他	347	104	451	16.0%	304	13.0%
公務員	国	2	1	3	0.1%	9	0.4%
	都道府県	537	46	583	20.7%	639	27.3%
	市町村	109	49	158	5.6%	126	5.4%
博物館・研究機関		16	24	40	1.4%	37	1.6%
報道・出版		17	19	36	1.3%	48	2.1%
その他一般		933	129	1,062	37.8%	659	28.2%
合計		2,197	614	2,811	100.0%	2,340	100.0%
前年度比		+374	+97	+471			
S44～H21 年度累計		56,516	19,267	75,880			

(6) 閲覧文書点数の状況

区分	平成 21 年度		平成 20 年度	
	点数	比率	点数	比率
毛利家文庫	9,352	36.0%	6,392	29.5%
徳山毛利家文庫	744	2.9%	354	1.6%
県庁伝来旧藩記録	571	2.2%	516	2.4%
山口小郡宰判記録	25	0.1%	10	0.0%
郡役所文書	98	0.4%	163	0.8%
行政文書	3,783	14.6%	5,757	26.6%
行政資料	3,350	12.9%	2,003	9.3%
諸家文書	4,435	17.1%	2,911	13.4%
三卿伝史料	454	1.7%	130	0.6%
両公伝史料	1,759	6.8%	1,473	6.8%
県史編纂所史料	269	1.0%	328	1.5%
一般郷土史料	220	0.8%	270	1.2%
軸物資料	62	0.2%	195	0.9%
複写資料	780	3.0%	1,070	4.9%
図書	40	0.2%	70	0.3%
その他	11	0.0%	11	0.1%
合計	25,953	100.0%	21,653	100.0%
S44～H21 年度累計	786,231			

(7) 特別利用の状況

(承認件数)

区分	特別閲覧	複写	出版物等 掲載	模造品製作	貸出
H21 年度	56	1,410	221	0	6
(H20 年度)	(46)	(1,222)	(204)	0	(10)

区分	レファレンス 件数
H21 年度	1,101
(H20 年度)	(1,117)

(8) 貸出

萩博物館	吉田松陰没後 150 年記念特別展「至誠の人 吉田松陰」 4/10～6/24 (吉田松陰関係資料ほか 36 点)
滋賀県立 安土城考古博物館	特別史跡安土城跡発掘調査 20 周年記念 平成 21 年度秋季特別展「戦国の城－安土城への道」 9/17～11/12 (毛利家文庫 4 点)
山口県立山口博物館	吉田松陰没後 150 年特別展示「吉田松陰と門下生」 9/11～11/25 (吉田松陰関係資料ほか 20 点)
佐賀県立 名護屋城博物館	特別企画展「肥前名護屋城と「天下人」秀吉の城」 10/1～12/1 (毛利家文庫 2 点)
山口市歴史民俗資料館	企画展「十朋亭と維新の志士たち－伊藤博文を中心として」 10/1～12/9 (毛利家文庫ほか 5 点)
財団法人 広島市文化財団広島城	企画展「広島湾頭をめぐる歴史群像」 10/21～12/9 (毛利家文庫ほか 4 点)

8 刊行物

21 年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第 37 号 (H22.3.31 発行)
A5 判 144 頁 600 部印刷
- ② 『文書館ニュース』第 44 号 (H22.3.31 発行)
A4 判 8 頁 2,500 部印刷
- ③ 『山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー』 (H22.3.31 発行)
B4 判変形 132 頁 500 部印刷
- ④ 山口県内所在史料目録 第 34 集 (H22.3.31 発行)
A5 判 70 頁 400 部印刷

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第 1 回 平成 21 年 6 月 25 日 (木) 山口図書館第 1 研修室

- ・調査員活動報告
- ・研修「文書調査・整理の実践」専門研究員 山崎一郎

第 2 回 平成 22 年 3 月 5 日 (金) 山口図書館第 1 研修室

- ・調査員活動報告
- ・講演「文化財の道を歩いて来て」副館長 吉積久年

(2) 地方調査員による文書調査報告実績

地方調査員から 20 件、790 点の調査報告があった。

(3) 地方調査員名簿 (任期 平成 21.4.1～平成 23.3.31)

右表

担当地域	氏名
玖珂	惠本 洋嗣
熊毛	林 美美夫
都濃	佐伯 隆
佐波	重枝 慎三
吉敷	佐久間 努
美祢	吉村 徹
豊浦	安富 静夫
大津	岸崎 和夫
阿武	寺山 忠満

10 広報・普及

(1) 広報活動

『文書館ニュース』第44号(A4判8頁)を発行した。

その他、教育庁、県広報広聴課の広報媒体やイントラ、ホームページ、テレビなどマスコミを使い、諸事業の広報を行った。

(2) 第4回中国四国地区アーカイブズウィーク

平成21年6月2日(火)～9日(火)。参加者は延べ1,573人。詳細は以下のとおり。

＜特別シンポジウム＞6月6日(土)

「関ヶ原シンポジウム－西軍大名の江戸時代－」

参加者294人。

＜アーカイブズ展示＞6月2日(火)～9日(火) 8日(月)は閉館

9:00～17:00(文書館閲覧室)

「天下人と毛利氏－戦国のアーカイブズ－」

参加者1,139人。

＜ギャラリートーク＞6月6日(土) 7日(日)

専門研究員がアーカイブズ展示の解説を行った。

参加者99人。

＜文書館を使ってみよう！＞6月2日(火)

専門研究員が文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドした。

参加者24人。

＜アーカイブズ歴史小話＞6月5日(金)

専門研究員がアーカイブズに関する「ちょっといい話」をリレー形式で紹介した。

参加者17人。

(3) 特別展示

例年の展示のほか、特別展示として「山口県文書館50年のあゆみ展」、「隠れたアーカイブズたち～軸物アーカイブズ展～」、「幕末維新アーカイブズ展」、「国指定重要文化財大内版法華経板木展」、「吉田松陰没後150年記念 吉田松陰自賛肖像展」を行った。

- ・「山口県文書館50年の歩み展」

(5/1～6/28,10/31～12/27 山口図書館ふるさと山口文学ギャラリー)

- ・「隠れたアーカイブズたち～軸物アーカイブズ～展」

(5/1～6/28 山口図書館ふるさと山口文学ギャラリー)

- ・「幕末維新アーカイブズ展」

(10/31～12/27 山口図書館ふるさと山口文学ギャラリー)

- ・「国指定重要文化財大内版法華経板木展」

(10/31～12/27 山口図書館ふるさと山口文学ギャラリー)

- ・「吉田松陰没後150年記念 吉田松陰自賛肖像展」

(10/24～11/1 文書館特別調査室)

(4) 絵図を片手に街を歩こう

館蔵の江戸時代の絵図を用いて現地を歩き、地域の歴史と魅力を再発見する試みを下関市・山口市・周防大島町・周南市の4会場で行った。(10/4、10/17、10/25、10/31)

(5) アーカイブズガイドの出版

開館 50 周年記念出版として『山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー』（132 頁）を刊行した。館蔵資料の中から幕末維新期に関わる主な資料を横断的に取り上げ、広く一般の方々にも親しまれるように編集した。

(6) 「国際アーカイブズの日」記念講演会

当館の 50 周年に合わせる形で、文書館関係の二つの会議を誘致し、あわせて記念講演会をおこなった。館員のみならず諸方面にも呼びかけ、県市町職員も参加した。

- ・ 6 月 「全国公文書館長会議」および「国際アーカイブズの日」記念講演会
記念講演：宇賀克也 東京大学教授「文書管理法（仮称）の制定に向けて」
後藤 仁 神奈川大学教授「説明責任と情報公開・公文書管理」
- ・ 12 月 「中国四国地区文書館等職員連絡会議」

(7) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

期間	展示題目	担当
3/21～4/19	山口お宝展 「鎌倉時代の塩浜絵図ー長門国正吉郷入江塩浜絵図ー」 6点	和田
4/21～5/24	シリーズ アーカイブズを守る① 「山口殿中文庫～大内氏と文書保存～」 6点	和田
6/10～7/30	シリーズ アーカイブズを守る② 「萩藩の文書管理～勝手に棄てるな～」 5点	山崎
8/1～9/13	シリーズ アーカイブズを守る③ 「1166冊の日記～徳山藩御蔵本日記～」 8点	吉積
9/15～11/1	シリーズ アーカイブズを守る④ 「絵図を作った男たちー萩藩絵図方の挑戦ー」 4点	山田
11/4～12/27	シリーズ アーカイブズを守る⑤ 「焼け焦げた文書を救え！」 8点	山本
12/29～3/2	シリーズ アーカイブズを守る⑥ 「市町村合併と公文書保存～文書館所蔵市町村合併関係文書の紹介～13点	吉田
3/3～4/4	「足利将軍の出した文書」 3点	和田

(8) 古文書入門講座（初級）（於：山口図書館第1研修室）

古文書入門講座を毎月 1 回、第 4 土曜日（14 時～16 時）に開催した。今年度も申込者が多く、抽選の上、受講者 30 名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
4月～7月	古文書に慣れよう (1) ～ (4)	山田
8月～11月	古文書を読んでみよう (1) ～ (4)	和田
12月～3月	古文書を読み進めよう (1) ～ (4)	山本

(9) 古文書専修講座（中・上級）（於：山口図書館第1研修室）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、毎月1回、第2土曜日（14時～16時）に開催した。受講者は、抽選の上30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
4月～7月	「江戸時代の改元」～毛利家文庫55旧記3「大記録29」を読む	吉田
8月～11月	徳山毛利家文庫「寺社町方日記（明和4年）」を読む	吉積
12月～3月	いろいろな文書の文字を読む	山崎

(10) 古文書活用講座（於：山口図書館第1研修室）

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、古文書の基礎知識や読解力の習得を通じて古文書への関心を深め、学校教育に古文書を活用する契機を提供することを目的に、8月5～8日の4日間、集中して実施した。受講者は10名で、その内容は次のとおり。

日程	午前（9時30分～12時）	午後（13時～16時）
8月5日（火）	開講 文書館の活動について（吉積）	古文書の基礎知識（吉田）
6日（水）	古文書解読に挑戦1（和田）	古文書解読に挑戦2（山崎）
7日（木）	絵図・地図に親しむ（山田）	資料の活用方法1 映像に見る山口県（山本）
8日（金）	資料の活用方法2 絵図を片手に街を歩こう （山崎・山田・山本）	資料の活用方法3 各自のテーマに関する資料を集めてみよう 閉講

11 研究活動

(1) 研究実績

・吉積久年

「妙見宮鷲頭寺の棟札について」 『下松地方史研究』第46輯（平成21年11月）

「徳山毛利家文庫「御蔵本日記」に見る座頭・瞽女」

『山口県文書館研究紀要』第37号（平成22年3月）

・山田 稔

「吉田松陰自賛肖像考」 『山口県文書館研究紀要』第37号（平成22年3月）

「山口県指定有形文化財「吉田松陰関係資料」について」

『山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー』（平成22年3月）

・和田秀作

「大内氏の文書管理についてー「殿中文庫」を中心にー」

『山口県文書館研究紀要』第37号（平成22年3月）

・山崎一郎

「山口県行政文書の重要文化財指定」 『アーカイブズ』第36号（平成21年7月）

「山口県文書館と50年」 『アーカイブズ学研究』 No.11 (平成21年9月)

「十七～十八世紀前記、松江藩の鉄山制作と鉄山業の展開」

『史学研究』 267号 (平成22年3月)

「毛利家文庫の形成過程と文書群構造」

『山口県文書館研究紀要』 第37号 (平成22年3月)

「山口県指定有形文化財「吉田松陰関係資料」について」

『山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー』 (平成22年3月)

・山本明史

「文書館資料と地域調査ー「絵図を片手に街を歩こう」の取り組みを通してー」

『山口県文書館研究紀要』 第37号 (平成22年3月)

・吉田真夫

「徳山毛利家文庫「譜録」について(その一)」

『山口県文書館研究紀要』 第37号 (平成22年3月)

(2) 研究会等

・吉積久年

雪舟研究会 (7/10、11/23)

富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会行政文書実務担当者研修会講師 (7/23)

萩市唐樋札幌跡整備委員会 (8/6、10/14)

下松郷土史研究会講演「妙見宮鷲頭寺の棟札について」 (11/28)

周南市美術博物館資料収集委員会 (2/9)

長門市文化財保護協力員研修会「長門市の文化財について」講師 (3/26)

・山田 稔

宇部市文芸講座講演「吉田松陰解体新書」 (6/21)

史都萩を愛する会例会講演「吉田松陰自賛肖像について」 (9/26)

山口県高教研社会科部会山口支部講演「吉田松陰解体新書」 (10/28)

鴻ノ峯学級講演「山口御屋形とその周辺」 (12/8)

・和田秀作

岩国市加陽和泉守居館跡現地調査指導 (7/8)

雪舟研究会 (7/10、11/23)

・山崎一郎

アーカイブズ学会 2009年度大会企画研究会「Archives Japan 50ーアーカイブズ学からの照射」報告「山口県文書館と50年」 (4/26)

島根県立図書館郷土史料モニター連絡会議研修会講演「地域文書の調査と保存ー山口県文書館の事例ー」 (7/14)

財団法人鉄の歴史村地域振興事業団(島根県雲南市吉田)主催 鉄の歴史村フォーラム 2009基調講演「中国山地でのたたら製鉄～安芸地域の事例から～」 (11/14)

光地方史研究会古文書解説講座講演「守田家文書について」 (2/28)

12 その他

春季・秋季資料整理等

5月26～31日

春季資料整理期間

11月25日～12月3日

秋季資料整理期間・資料調査期間

Ⅲ 平成 22 年度の計画

1 業務

(1) 保存対策

徳山毛利家文庫「譜録」の複製化
「地下上申絵図」の高精度カラー複製化

(2) 刊行物

『山口県文書館年報（平成 21 年度）』のデジタル刊行
『山口県文書館研究紀要』第 38 号の刊行
『文書館ニュース』第 45 号の発行
『行政文書件名目録』の刊行

(3) 普及活動

古文書入門講座

会期 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月の第 4 土曜日（12 回）
会場 山口図書館研修室
対象 一般県民（定員 30 名）

古文書専修講座

会期 平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月の第 2 土曜日（12 回）
会場 山口図書館研修室
対象 一般県民（定員 30 名）

古文書活用講座

会期 平成 22 年 8 月 3 日（火）～6 日（金）
会場 文書館・山口図書館研修室
対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

2 職員（平成 22.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	熊寄 歳介	館務統轄
副館長	金谷 匡人	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	山田 稔	諸家文書に関すること
〃	和田 秀作	藩政文書・閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	山崎 一郎	緊急雇用に関すること
〃	山本 明史	行政資料に関すること
〃	吉田 真夫	行政文書・アーカイブズワークに関すること
（兼）総務課長	川越 裕之	庶務会計等
（兼）主任主事	榎田 健士	〃
（兼）主事	内田 達志	〃
嘱託職員	吉積 久年	文書整理
臨時職員	伊藤 千絵	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助

3 地方調査員（任期 平成 21.4.1～平成 23.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
玖珂	惠本 洋嗣	美祢	吉村 徹
熊毛	林 芙美夫	豊浦	安富 静夫
都濃	佐伯 隆	大津	岸崎 和夫
佐波	重枝 慎三	阿武	寺山 忠満
吉敷	佐久間 努		

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額	事業概要
文書館運営費	8,464	運営関係費
文書保存整理刊行費	2,465	文書の整理
文化事業費	995	古文書講座・村絵図・文書の複製
文書館情報発信充実事業	12,637	データベース入力・整理
合計	24,561	